



1



2



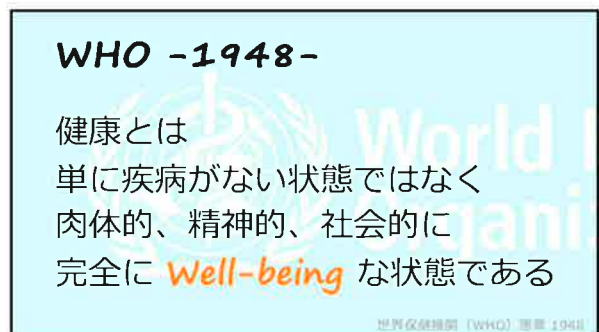
3



4



5



6



7



8



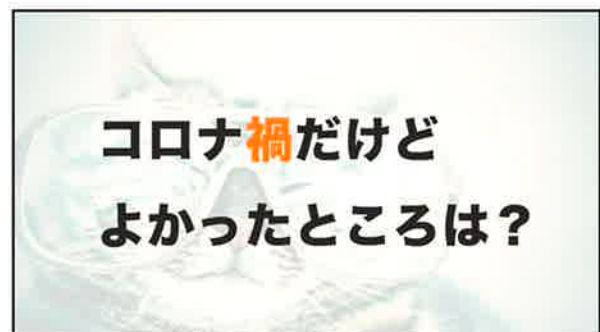
9



10



11



12



13



14



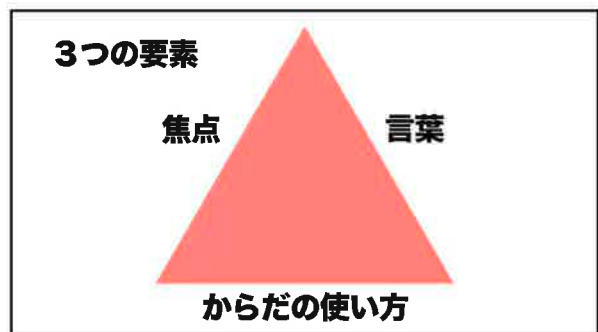
15



16



17



18

からだの使い方

すべての基礎。姿勢、表情、呼吸。

感情は動きから生まれる (Emotion)

元気がない人はどんな感じ？
元気な人はどんな感じ？

19

焦点の置き方

何に意識を向けるかが重要

焦点を当てるものを**信じる**ようになる
たとえ真実でなくても自分にとって真実と等しくなる
事実が感情を作る訳ではない

20

言葉・意味付け

どんな言葉を使うかが感情の状態に影響
ポジティブな**言葉**を使うと**心**がポジティブに
ある言葉を**感情**を込めて繰り返し言う
そのことを信じるようになる
これまで誰の声を一番聞いてきたか？

21



22

わたしの Well-being カード

マインドfulness	幸福からの解放	楽しい関係	承認	多様性	困難を乗り越えよう
熱中・没頭	成長	信頼	感謝	社会貢献	自然とつながろう

「わたしたちのウェルビーイングカード」(ICCキッズ・プログラム 2021版) NTT研究所

23

あなたの最も大切な3つはどれですか？

困難からの解放	成長	関係	自己への信頼	マインドfulness	奇蹟	主体的行動	熱中・没頭	没頭
幸福性	困難からの解放	関係	あなたが・尊敬	愛	楽しい関係	承認	没頭	感謝
没頭	社会貢献	思いやり	多様性	没頭	生命とつながろう	困難を乗り越えよう	自然とつながろう	笑顔

24

わたしたちの **Well-being な休日** **W**

- ・ 4-5名のチームに分かれる
- ・ それぞれが3枚ずつ自分のカード、選んだ理由を紹介
- ・ すべてのカードが揃ったところで、それらができるだけ満たされる
"休日プラン2泊3日" を考えてください

25



26



27

協力と連携

<p><協力></p> <p>ある目的のために心を合わせて努力すること</p> <p>AさんとBさんの目的は同じではない</p>	<p><連携></p> <p>同じ目的を持つものが互いに連絡をとり協力しあって物事を行うこと</p> <p>それぞれが独自の行動をする目的は同じ</p>
--	--

28

多職種連携は何のための連携か？

連携のために連携はできない

同じゴール
(目的) が必要

29

同じゴールを向くために

目的の共有
治療方針、療養計画、ケアプラン

専門的な視点の共有
参加メンバーの得意・不得意

役割の共有
情報共有、目指す方向性の確認、目標設定

30

医療のゴール ～2つに分けられてきた～

- ①疾患を治すこと
- ②病む人固有の側面に焦点を当てた患者ケア

しかし、これは正しくない。ゴールは1つ。
それは患者の**Well-being**だ。

Cassell EJ (2013)

31

医療のゴール ～2つに分けられてきた～

わたしたちの目的は
同じ！

それは患者の**Well-being**だ。

Cassell EJ (2013)

32

同じゴールを向くために

目的の共有
治療方針、療養計画、ケアプラン

専門的な視点の共有
参加メンバーの得意・不得意

役割の共有
情報共有、目指す方向性の確認、目標設定

33

得意なところは普通に
できてるから気づかない

専門的な視点の共有
参加メンバーの得意・不得意

わたしの苦手＝あなたの得意

34

わたしたちの **Well-being** な要素 **W**

発言1回目
まずは**自分の**「職種」を自己紹介
自分の得意/苦手と思っているところ

発言2回目 (誰からでもOK)
今度は**他人の**得意なところ

本人が
気づいてなさそう
なところなら
なおGood

35

わたしの苦手は
あなたの得意



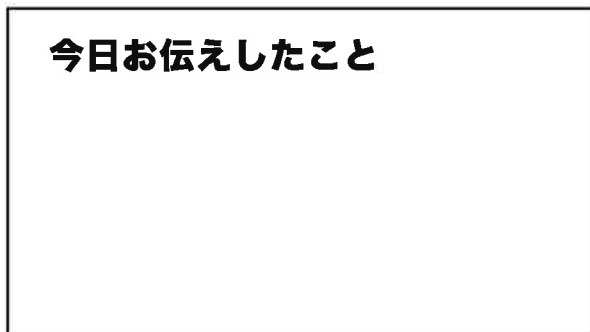
36



37



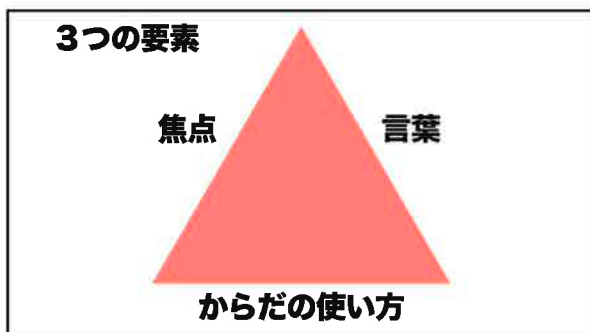
38



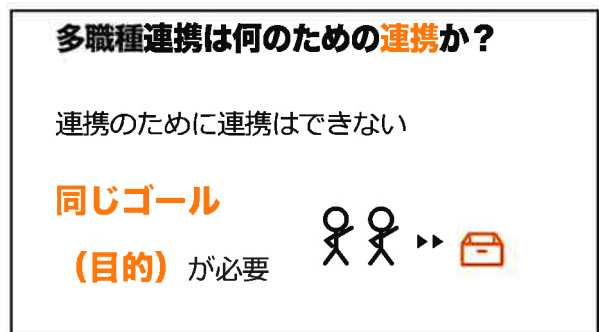
39



40



41



42

医療のゴール ~2つに分けられてきた~

わたしたちの目的は
同じです!

それは患者のWell-beingだ。

Cassell EJ (2013)

43

得意なところは普通に
できてるから気づかない

専門的な視点の共有
参加メンバーの得意・不得意

わたしの苦手=あなたの得意

44

今日お伝えしたいこと
みんな**そのまま**
最高だ!

45